

Vol.19(2021) No.02(02/25)L05

BNT162b2ワクチンで誘導したヒト血清によるSARS-CoV-2系統B.1.1.7シュードウイルスの中和活性

[Neutralization of SARS-CoV-2 lineage B.1.1.7 pseudovirus by BNT162b2 vaccine-elicited human sera](#)

Muik A, Wallisch AK, Sanger B, et al.

【Science. 2021 Jan 29:eabg6105】-peer reviewed(査読済み)

(要旨)

最近、英国でB.1.1.1.7(VOC^A 202012/01)と呼ばれる新しいSARS-CoV-2ウイルスの系統が出現し、他の系統よりも効率的かつ迅速に伝染することが報告されている。この変異株は、スパイクタンパクのアミノ酸が10カ所も変異しており、中和抗体による認識に影響を及ぼす可能性が懸念されていた。臨床試験でmRNAベースのCOVID-19ワクチンBNT162b2を接種した40例の被験者の血清を用いて、武漢リファレンス株またはB.1.1.7系統のスパイクタンパク質を有するシュードSARS-CoV-2-Sウイルスを用いて試験した。B.1.1.1.7系統のシュードウイルスに対する免疫血清の中和力価はわずかに低下したが、全体的にはほぼ維持されていた。これらのデータは、B.1.1.7系統はBNT162b2による生体防御から逃避できないことを示している。

^A variant of concern